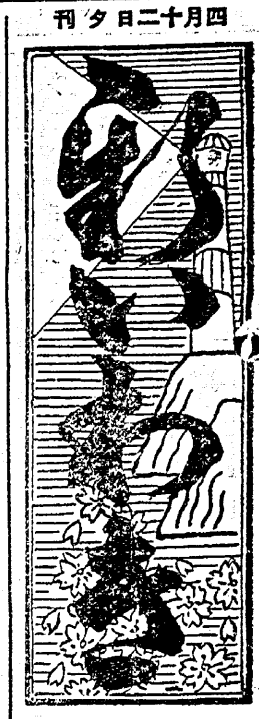
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）
昭和十年四月十三日 〔日刊〕 新いわき 〔土曜日〕 第一千四百四十三號 （一）
四月十二日夕刊



但日曜祭日翌日休刊
郵税一ヶ月二十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 協所指定 弐拾錢增
發行兼編輯印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

櫻花にも スピート時代 急ぐ〳〵平の櫻

臨時列車さへ慌てる速さ

だが矢張り花は今月一杯か

滿園を花で包む平町松ヶ岡公園の櫻は開花期に雨多いのと俄かの暖氣で急ぐ〳〵何處も彼所も一帶に綻び初めて遊山の人を誘つてゐる今年の早咲きに鐵道でも來る二十一日に豫定した臨時列車の運轉を繰上げ樣かとさへ云はれる程のスピードだが花は矢張り今月一杯續くであらう見込みから右臨時車は變更しないことになつた同車の時間は左記の如く尙ほ當日の臨時湯本午前十時十五分發及び土浦午前六時十五分發平着同九時三十四分と上野發午前六時平着同十一時一分列車は松ヶ岡公園辨天池脇に設けられる假停車場で降客の便宜をとる筈である

臨時列車平、四倉間を運轉下り方面湯本發午前十時十五分綴十時廿一分松ヶ岡公園下十時廿七分平着十時廿九分▲平發午後六時二十三分草野六時三十一分四倉着六時三十七分

上り方面四倉發午後七時二十分草野七時三十分平着七時四十一分▲平發午後八時卅分綴八時卅六分湯本着八時四十二分▲平發午前九時四十五分綴九時五十五分湯本着十時四分（以上）

お花見團体四百名

助川關本間から平公園へ

平町松ヶ岡公園の櫻花盛る來る二十一日水戸運輸事務所の主催で助川、關本間各驛からお花見團体を運ばれることは既報したが同團体の豫定人員は四百名で助川發午前八時四十分平着九時五十八分復りは平發午後三時五十分助川着五時七分この間の約五時間を緩つくりと花見氣分にひたられる筈で町でも歡迎に大馬力をかけ平美妓自慢の手踊り石城音頭にお花見おどり平音頭その他を演ずることになつてゐる尙ほ同區間の團体は申込み者が多いので更に募集される模樣である

平驛から三丁目まで 舗裝着工は確實

今日青沼町長が陳情

本町は五丁目だけか

本町の國道舗裝は縣の方針未定のため前途憂慮されてゐたが郡下土木事業調査のため昨十一日來郡した縣土木課原技師と今十二日會見した青沼平町間は該計畫に對する縣の意嚮を探つた結果大体今年度は總額一萬五千圓程度で驛前から田町大通り三町目常磐支店傍までと五町目本通りだけは着工の見込充分で紺屋町、研町から長橋までの西部の舗裝は今年度實現至難と見られてゐる此れに就て青沼町長は驛前廣場の舗裝は鐵道當局でも既に着工準備が出來て居り縣が驛前縣道の舗裝を開始と同時に着工すると聲明してゐるのでせめて驛前から三町目まで田町大通りだけでもやつて欲しいと思ふのだが縣の財政狀態から見て餘り思はしくない樣だ今年度は大体一萬五千圓程度の工事しか望まれない樣であるから近く町會を開き町としても五千圓位の寄附を決議して置かないと速急に着工は望まれないと思ふ

町村長支會總會

町村長石城支會では來る二十日平町に恒例總會を開き各般の協議後觀櫻會を催す

町村長評議員會

町村長支會では十五日午前十時から平町會議室に評議員會を開き縣立磐女校の町村寄附に就て協議する

常識講座

フューラーとは指導者のことで獨逸のヒットラーが國民に呼ばれてゐるの類、被指導者のことをゲフオルクシャフトと云ふ、フューラー、プリンチープと云へば指導原理のことだ

入山炭礦の創立四十週年記念式典

十五日午前九時から

全山歡樂のルツボを現出

（既報）湯本町入山採炭會社では十五日創立四十週年に相當するので當日盛大な記念式を擧行するが折柄炭界年一回の最大慰安日である大山神祭にあたるので此の日同山一帶歡樂のるつぼと化す賑かさを呈するだらう因みに祝賀式は

△午前九時山神社に於て奉告祭を執行神刀の奉納式あり

△午後二時から記念祝賀式を入山グランドで擧行吉田所長の開辭、國歌合唱、島岡社長の式辭あつて後永年勤續優良從業員

△三十年以上鯨岡愿道△二十年以上鈴木留次郎 橋本濱太郎以下六名△同礦員早立直吉 石上益太郎外十六名△十年以上職員比佐正明 青田義教 大越貞次郎外六十九名△礦員渡邊林四郎以下二百九十名の表彰式あり

渡邊專務の挨拶後職員總代鯨岡愿道、礦員總代上野源太郎兩氏の答辭あり礦歌合唱あつて太田理事發聲の萬歳三唱により此の式を閉ぢる筈である

佐藤三平氏 雪寃會

今日内郷で

井上、色川兩氏と共に青天白日の身となつた内郷村消防組頭佐藤三平氏の雪寃慰安會は今十二日午後一時から内郷村内郷館に於て沼田村長等發起で開催盛會であつた

昨日の俵米共販値

前回より一般に下値向き

石城郡販聯に於ける昨十一日の俵米共販は左記の如く出荷六百五十俵に對し米商廿余名の競爭入札で近頃にない盛況であつたが買氣は割合に振はず通じて前回よりは下値を歩み只勿來倉庫米の一一三俵が地元生田目商店の買入れで前回の最高値十一圓十四錢より二錢高を見たるのみ他は一般に安値であつた尙ほ米價は當分は安保ち合ひでないかと見られてゐる

平倉庫二一俵（十一圓十一錢）草野倉庫九俵同農會三四俵計四五俵（十圓九十二錢）飯野信用五九俵（十一圓八錢）小川倉庫二〇俵（不調）神谷倉庫五八俵（十一圓）大野倉庫二五七俵（十圓九十三錢）鹿島倉庫三八俵（十一圓十一錢）平窪倉庫（不調）勿來一一三（十一圓十六錢）以上

拾遺歌中題詞の『さはこのみゆ』は現今の湯本（原名三箱）町に懸く

（飯坂溫泉元湯の鯖湖に强引、建碑せるは無稽、不當の極み）

〔29〕

鮫川刺史

さて當嶽の觀音堂を記述するのは

湯之嶽十一面觀音堂、在平城西二十里磐前郡、大同年中、德溢建焉、寛永年、夜三尺許之光氣飛行西、近隣古佛に疑ひなし、古より堂舍回祿すること七回、佛軀に焦跡あり、杉木にて長三尺、（湯之嶽由來記注）

如滿月光、鄕民皆見之怪、翌爲野火燒、今新佛也（岩城風土記）

櫻に風土記、新佛とあれど古佛に疑ひなし、古より堂舍回祿すること七回、佛軀

文化七年三月十一日、湯の嶽觀音堂入佛、同十七日迄開帳、天保六年三月二十一日、湯岳觀音燒失、（原注五間四面萱葺、御本堂木羽葺）但し仁王門、籠處、末社等は、先年、野火に燒失致し、未だ普請出來不申處今日、御本堂燒失、（法海寺記錄）

德溢（一、又は逸とも）大師回國振錫の時に當りて、大同元年、當嶽の麓を過り、高頂にいたり、合掌、禮拜して十一面大士の尊軀を自刻し、且つ一堂を草創して之を奉安す、其傍に一里塚を築き、普門品を納めらる又頂上には三大石あり、方三間餘、皆方石、眞に箱形に類す、即ち三箱山の名之に由ると云ふ、大師當山の西三里余、入上村（今の入遠野村大字入遠野に入る）に於いて入定を遂げ給ふと云ふ、（湯之嶽由來記抄錄）

怪しや拾圓の行方

紛失した男から捜査願ひ

平町新川町齋藤勳が數日前夕刻同町銀冶町飲食店水戸屋方で遊興貸切自動車を呼んで同家の女將鈴木セイに送られ歸宅月見橋附近で下車する際女將のスイが勳の財布を受け取り自動車賃を支拂つたが勳が歸宅の上で財布を開けて見ると十圓札一枚が煙の樣に消えてゐたそこで今十二日平署に拾圓札一枚の捜査方を願出た

人力車々体檢査

平署では今十二日午前十時から管内人力車の車体檢査を執行した

今曉公園附近で美人の自殺未遂

驀進する列車目がけて

寸前危ふい處で救助さる

今十二日午前五時二十五分平驛發上り常磐線上野行旅客列車が同町松ヶ岡公園切割地點を驀進中突如線路に飛込み自殺を企てた婦人あり機關手が急停車に努めたので寸前危ふいところで救助されたが右は平町田町松の壽司事松本清之巫方女中郡山市字堤下生れ工藤イチエ（三一）と判明平署で保護中である自殺を企てたのは厭世の結果と稱してゐるが裏面に深い事情があるらしい尙此れがため該列車は約五分遲延して出發した

柴田署長が支部長に

自動車協會

新役員決定

自動車協會平支部では支部長横山平署長が若松へ榮轉したので後任支部長以下役員改選のため十一日午前十時から平署會議室に役員會を開き改選の結果左の如く當選した

▲支部長柴田鶴作▲副支部長野崎滿藏、小濱長太郎、鈴木稻實▲常議員木村德三郎外九名

平署内少異動

飯野駐在は缺員

平署安齋會計の轉任により署内異動を次の如く發表した

命會計 鴨志田巡査

竹の内駐在 佐々木巡査

特務司法 佐藤巡査

飯野駐在は當分缺員である

幼兒を轢倒す

上遠野村の運轉手

上遠野村字右石海上哲夫方自動車運轉手蛭田欣（二七）は貸物を滿載したトラックを運轉石川郡石川町を疾走中路上で同町阿部勝吉二男政助（七）を轢倒した

農業方面

施肥餘談

3　農試本場内山生

ところが實際に於て多數の人々は物を栽培せんとするや直ちに報酬（收量）の多からんことをのみ先づ第一と考へる

然も無理にも食ひ飽きるほどの、人間ならば下痢するほどの養分を與へてこれほど充分食はせて病氣になつたりするとは作物が生れつき弱いからだと勝手な理屈をつけて彼れ等の住む世界のことは殆んど全く無視してゐる場合が極めて多い、作られる者こそ迷惑千万な話である、

野生植物は頑健である、どんな逆境でも割合平氣で育つだが作物なるものは云はゞ大家の一人息子の樣なものである、抑もの親代々生れるから乳母日傘で箱入りの生活に慣らされた蒲柳の質であるだからこそ育てるものとしての養育掛りは細心の注意と無限の愛情を以て食物と云はず住居と云はず周密の看護をしてやらねば寒濕風雨に傷められ健康を害する、

栽培の秘決の一つは此の母の如き愛情を忘れないことにあらう其處で作物の住居である土質の問題には入らう、

同じい料理でも心地よい部屋ならば食慾が出る麗朗な春の大氣を滿喫して身も心も運動の自由な山野に遊ぶならば物みな美味ならざるはない、

作物の根も、悠々手足をのばして自由なる活動の出來る天地を望むこと實に切であり新鮮な空氣を欲すること人間に劣らない、

この意味から作物の最も理想とする砂質に偏せず重粘に墮しない住居を與へるべく不斷の努力を怠らず土質の改良を計つて欲しいものである、

ガソリン
モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油問屋
關内油店
電話長16　平城磐
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

有效な滋養強壮劑
婦人用
電話三〇五

入院應需
内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

鼻の諸病に快鼻湯　有効保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く
（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局
磐城平町一丁目（電話六九九番）
振替口座仙台（八八七六番）

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
自炊の便あり

學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
・玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…
・九五錢ヨリ
入學用品店陳列
入學ト級進ノ準備ニ
イ揃ノ品質セル實用品ニ吟味ニ入念
ツルヤ
平一四〇電

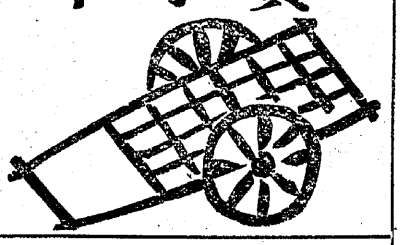
洋服は高島屋
注文並に既製品
特製男女通學服！特價提供……
平町二丁目　電話三八六
男子一年生用　紺サージ　三圓九〇錢より
綿サージ　一圓六十錢より
小倉同　一圓四五錢より
女子用　サージ　三圓三〇錢より
綿サージ　一圓六五錢より
男女防水マント　一圓三〇錢より
其他春物新荷豊富取揃
高島屋洋服店

新設、電話二二一番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
（産婆）上原通子

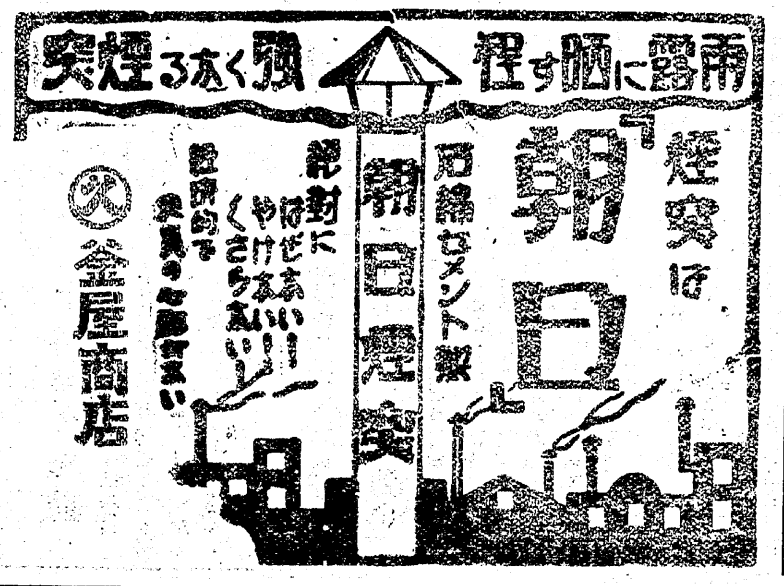
（磐城共濟病院）　福島縣平町電六四一
内科　院長　醫學博士　石山謙郎　電（話六四一番）
小兒科　部長　岩手醫學士　平賀一忠
産婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二　（電話三七〇番）
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿科花柳病科　部長　醫學士　前澤正　（電話二七二番）
X光線療病科　醫學博士　石山謙郎
物理療法科　技術員　石後利彦
衛生試驗所　獸醫　高山雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
◎…病室完備…入院隨意…◎

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

貸手車
平町大町若松醫院隣
牛谷



平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番



好評噴々たる各種優秀藥
大衆酵母劑　カクレー（三十三日分）定價一圓十錢
強力驅毒劑　スピロイン（定價二圓五圓十圓）
平町五丁目角
特約販賣店　山野邊藥局